

7月議会

7月16日に開会した定例議会は、後藤圭二市長誕生後最初の定例議会でした。学校トイレの改修・洋式化や障がい者の多機能ケアホームへの補助金など、後藤市政の政策予算が提案され、日本共産党からは竹村博之議員が代表質問を行いました。市立サッカースタジアム設置などの条例や、副市長人事も含めた議案をすべて可決し、8月5日閉会しました。

日本共産党

「事業見直し」により 廃止・縮小された事業 の復活・再構築を!

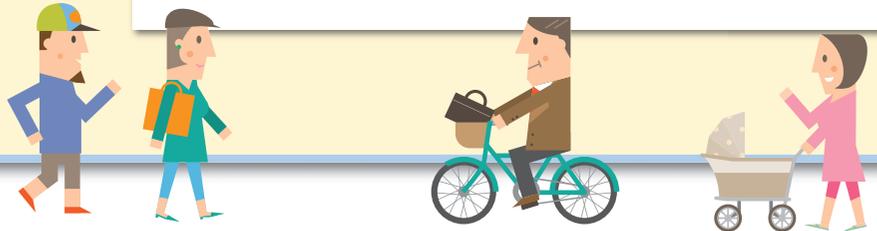
日本共産党は、後藤市長に対し、維新流の市政から転換することを求めました。後藤市長は、これまでの維新市政が進めてきたことをすべて否定しているわけではないが、①維新市政の特徴である住民合意のない市政運営から、民主的な市政運営へ転換する②コスト削減論に基づくなんでも民営化路線をとらない、という考えを明らかにし、維新流の政治理念・手法と決別したことを印象付けました。

そこで、代表質問では、「前市政のもと市民の声をきかず削減・廃止された市民サービスをまずは検証し、市民から見て必要な施策は復活させることが、選挙で市民から託された願いではないか」と事業見直しに関する市長の見解をたずねました。

後藤市長

「社会状況や将来展望を 加味した政策をもって 施策体系を再構築する」

後藤市長は「福祉施策をはじめ、前政権が廃止、削減、先送りした施策の見直しについては、現在鋭意各部と協議を重ね、一部を本議会に提案している。限られた予算を活用して市民サービスの向上を図るため、廃止された事業を単純に復活させるのではなく、現在おかれた社会状況や将来展望を加味した政策をもって、新たな施策体系を再構築し、しかるべき時期に議会にはかりたい」と答え、住民福祉向上のための施策体系を練り上げている最中であると明らかにしました。



意見書・請願の状況

「安全保障関連法案の撤回、 廃案を求める意見書を可決」

賛成

日本共産党 大阪維新の会 吹田翔の会
吹田いきいき市民ネットワーク すいた市民クラブ
すいた市民自治 すいた創政会

反対

自民党絆の会 公明党 吹田新選会 無所属クラブ

「世論調査では、本法案について国民への説明が不十分であるとの回答が8割を超え、今国会で本法案を成立させることに反対であるとの回答が約6割を占めた。また、そもそも本法案は憲法違反であるとの回答が過半数に上っている。衆議院での強行採決や、今後の参議院での審議で何が何でも今国会で本法案を押し通そうとする姿勢は、正に民主主義を認めない、民意無視の暴走と言わざるを得ない。」(一部抜粋)

「ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書」「教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書」についても日本共産党が他の会派と共同提案し、全会一致で可決されました。

市立吹田サッカースタジアム

(株)ガンバ大阪を 指定管理者に指定

万博公園内に4万人規模のサッカースタジアムが寄付金により建設され、2015年9月30日付で市に寄附されます。市立吹田サッカースタジアムとして設置され、サッカーやその他のスポーツなど青少年の健全育成、市民交流を目的としています。施設の管理は(株)ガンバ大阪に委ねます。指定管理期間は、47年6か月。利用料はグラウンド1時間あたり5万5千円となっており、指定管理者は広告看板の設置で広告料を徴収することもでき



ガンバ大阪オフィシャルサイトより
©スタジアム建設募金団体

ます。指定管理者は市から委託料をもらわず、利用料金でスタジアムの維持管理や大規模修繕の経費を捻出することになっています。